

◇ 動詞の「活用の種類」は、五段活用の他にもある！

前のプリント(No. 4)で、五段活用ではなかった動詞がいくつかありましたね。

それらの活用の様子を、表に入れながら見てみようφ(^o^ ) 空欄は自分で活用させてみてね！

来る	協力する	勉強する	見る	起きる	落ちる	流れる	食べる	
※	協力 <small>きょうりき</small>	勉強 <small>べんきょう</small>	※	起 <small>お</small>	落 <small>お</small>	流 <small>なが</small>	食 <small>た</small>	語幹 <small>ごかん</small>
こ こ	し し ★	し し ★	み み	き き	ち ち	れ れ	べ べ	ウ、ヨウ ナイ 未然形
き き	し し	し し	み み	き き	ち ち	れ れ	べ べ	タ マス 連用形
くる	する	する	みる	きる	ちる	れる	べる	終止形
くる	する	する	みる	きる	ちる	れる	べる	トキ 連体形
くれ	すれ	すれ	みれ	きれ	ちれ	れれ	べれ	バ 仮定形
こい	せよ しろ	せよ しろ	みよ みろ	きよ きろ	ちよ ちろ	れよ れろ	べよ べろ	命令形

↓  
↓  
↓  
↓  
これらは、けっこう特別な活用のしかたをしているので、呼び方も特別。  
次のページで説明するよ♪

★「勉強する」「協力する」の未然形は  
し(ナイ)、し(ヨウ) の他に  
・せ(ズ)  
・さ(セル)  
という形もあるよ。

↓  
「べ、べ、べる、べる、べれ、べろ(べよ)」  
「け、け、ける、ける、けれ、けろ(けよ)」(←「開ける」など)  
のように、すべての活用形に「え」の段が含まれる活用を  
「下一段(しもいちだん)活用」といいます。

「え」は「一段下」だよ！  
「え」は「一段下」だよ！  
「え」は「一段下」だよ！  
だから「下一段」という呼び方になったんだ…きっと…(想像)  
※本当にそうなのかどうかは、興味ある人は調べてみて！(^▽^)/

↓  
ということは？この「落ちる」「起きる」「見る」のような活用は何と呼ばれるのかな？予想してみよう！(° ; )

※「見る」や「来る」などの語幹(※)は、語幹があるのかないのか微妙…みたいな存在。まあ、あまり気にしないことにしよう(そうしよう)

(サ変) する	(五段) 拾う	(下一段) 捨てる	(上一段) 着る	(五段) 切る	来る	協力する	勉強する	見る	起きる	落ちる	
※	拾 <sup>ひろ</sup>	捨 <sup>す</sup>	※	切 <sup>き</sup>	※	協 <sup>きょうりやく</sup> 力	勉 <sup>べんきょう</sup> 強	※	起 <sup>お</sup>	落 <sup>お</sup>	語幹 ごかん
しし ★	おわ	てて	きき	ろら	ここ	しし ★	しし ★	みみ	きき	ちち	ウ、ヨウ ナイ 未然形
しし	つい	てて	きき	つり	きき	しし	しし	みみ	きき	ちち	タ マス 連用形
する	う	てる	きる	る	くる	する	する	みる	きる	ちる	終止形
する	う	てる	きる	る	くる	する	する	みる	きる	ちる	トキ 連体形
すれ	え	てれ	きれ	れ	くれ	すれ	すれ	みれ	きれ	ちれ	バ 仮定形
せし よろ	え	てよ てろ	きよ きろ	れ	こい	せし よろ	せし よろ	みよ みろ	きよ きろ	ちよ ちろ	命令形

↓

◇「切る」と「着る」は、両方とも「きる」なのに  
活用の種類が違う(五段と上一段)んだね!  
◇他にもいろいろな動詞を  
活用させてみて、  
「活用の種類」を考えてみよう♪

↓

「来る」のような活用を  
「カ行変格(かぎょうへんかく)活用」(略して「カ変(かへん)」)  
「勉強する」「協力する」のような活用を  
「サ行変格(さぎょうへんかく)活用」(略して「サ変(さへん)」)  
といいます。特別な呼び名!  
しかも、「カ変」の動詞は「来る」一語だけ!  
「サ変」の動詞は「する」が付く動詞だけ! だいぶ特別なグループなので注意してね( . . )φ

↓

予想できたかな～?  
「上一段活用」だよね!  
「かみいちだん」ね♪  
「ち、ち、ちる、ちる、ちれ、ちろ(ちよ)」  
「み、み、みる、みる、みれ、みろ(みよ)」  
のように、「い」の段で活用していくね(^皿^)

📎 練習 📎 これらの動詞を活用させて、「活用の種類」を答えてみよう! 丁寧にゆっくり考えてね(^o^)  
◇◇ ふたばプリント ◇◇